

平成30年度第1回御宿町生涯活躍のまち推進協議会 会議録（概要）

開会

1 委員長挨拶

事務局変更挨拶

2 議題

1) 地域再生計画及び地方創生推進交付金の決定

企画財政課長から説明

平成29年3月	策定	生涯活躍のまち・おんじゅく(御宿版CCRC)構想
平成30年1月	申請	地域再生計画(生涯活躍のまち・おんじゅく (おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまち))
平成30年3月	認定	地域再生計画(生涯活躍のまち・おんじゅく (おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまち))※1
平成30年3月	申請	平成30年度地方創生推進交付金 (御宿町生涯活躍のまち推進事業)
平成30年4月	交付決定	平成30年度地方創生推進交付金 (御宿町生涯活躍のまち推進事業)※2

※1 交付金対象事業に要する費用

総事業費 73,820千円 64,820千円

(△9,000千円:特産品の開発事業の一部が認められなかった。)

※2 平成30年度交付対象事業経費 23,930千円 交付金額 11,965千円

委員 地方創生推進交付金の決定ということで説明があり、一部が採択されなかったという説明があったが、具体的にはどういう内容なのか。また、その部分については、町としてそのまま事業を行うのか、額も含めて考え方を伺いたい。

企財課長 対象外とされた経費は、オリーブを特産品として開発する事業のうち、その苗木代や培養土等の購入経費300万円が、採択されませんでした。また、今後もオリーブを特産品として進めていく予定ですので、交付金は対象外となりましたが、一般財源を使いまして、措置をして事業自体は進めていきたいと考えています。

委員 地方創生交付金の事業としては一部削除されたが、事業としては採択されていると思う。近隣含めて事業そのものが不採択になるという話も伺っているが、そのような情報をお持ちであればお話を伺いたい。

企財課長 当町では、委員の皆様の意見を聞きながら、調整した中で内閣府等に申請の件を相談し、採択になるよう進めていました。ただ、オリーブについては、事業が否定されたわけではなく、原材料費というのが交付金にそぐわないということで対象外とされたので、交付金の趣旨というのはそうですが、町としては推進していく中で300万円を一般財源でつけるのは難しいですが、出来る範囲で進めていきたいと考えています。

## 2)今年度業務の内容と取組方針について

保健福祉課、産業観光課、教育課、企画財政課から各事業について説明

- 委員 この協議会でCCRCのコンセプトを作り、今課長から予算を前提にした、行政ベースでの計画を説明していただきましたが、これでコンセプトに近いのが出来るのか非常に疑問を持っている。というのは、御宿町の一番の問題点は、人口減少の問題と県下随一の高齢化社会だということで、今の状態であと5年経ったら、もっと高齢化が進む。そうした場合に人口減少問題は増々進んでいく。だからここで歯止めをかけないといけないというのが、今御宿町で抱えている課題ではないか。これには今回の交付金では間に合わないのではないか。私は予算があって取り組むのではなくて、どのような取り組みをしていくのかという計画が先ではないかと思います。民間企業の力を借りることを前提にした、計画を立てて予算がないならどうするかと考えていかないと、町CCRCは3年後には、結果的には何も変わらず終わることを危惧している。もうすでに後期高齢者になった人たちがここで住んでいけるか悩んでいる人が多い。
- 保福課長 住み慣れた街で地域に暮らし続ける中で、介護については、なかなか行政だけではフォローしきれませんし、企業の力が必要となると考えています。30年度のサービス付高齢者住宅事業者等誘致セミナー実施事業については、かなり対象事業者があり、無作為にアピールするのは難しいので、関心の高い業者に対して調査を実施し、その業者がどのような要望を持っているのか等整理した中で、企業が進出してくれるのか、行政に参画できるよう体制づくりを進めてまいりたいと考えます。
- 企財課長 計画が重要だということは、認識しております。そのために、今回サービス付高齢者住宅事業者・介護事業者等誘致セミナーを実施しまして、関心のある業者を町に呼び、お話を伺って、業者にはどのようなニーズがあるのか、また既存の介護事業者などもおりますので、町がどういうことをすればいいのか、そのあたりを把握して、皆さんの意見も聞きながら、具体的な計画に移っていきたいと考えています。
- 委員 前回までのCCRCとのコンセプトは、高齢者福祉がメインになっていたが、子育て支援や産業が加わり、教育や産業は具体的ですが、ほかのものはもう少し具体化されたものがあると、わかりやすいと思いました。
- 福祉関係の中で、サポート付高齢者住宅ですが、関係事業者にいろいろなニーズを求めるときに、どういう事業者にお聞きになるのか、御宿町の転出者の転出先がどういうところかなど、具体性が欲しい。高齢化率が一番高いということ、御宿町の魅力に代えるようにしてはどうですか。御宿台に越してきた者たちの現実、住み続けられなくて、80歳代になったら転出先を考えているのが現状なんです。今住んでいる人が転出せざるを得ないというのに、新しい移住者を迎えられるんですか。まずは今住んでいる人が本当に御宿町に住み続けられるんだということが大事です。
- 教育課が考えている小学校、中学校の事業はすごくいいなと思います。せっかくすばらしいこども園があるので、若い世代が入ってきて欲しいです。でも、今いる移住者にも、もう少し目を向けて欲しいなと思っています。保健福祉課の事業者の具体的なところをお聞きしたいなと思います。
- 保福課長 サ高住の関心度調査については、地域に根付いて調査等を実施したり、地域再生計画等ご助言いただいたちばぎん総研にお願いし、町に関心のある事業者にいろいろ調査をしていただいた中で、御宿町に関心があれば、視察に来ていただいたり、セミナーを開催して、町はこのような施策を行っている等をご案内し、町に参画していた

だけの業者を選定していければと考えています。

ちばぎん総研　まだ具体的な進め方は固めていませんが、千葉銀行の取引先、これは都内店を含め多数あり、本部が中心になって百数十ある営業店の支店長を通して、取引のある介護事業者の方々に、御宿の取り組みをきちんと説明した上で、関心がある事業者を選び、実際ここに来ていただける方々を募って、セミナーと視察会を実施したいと考えています。そのあとのフォローもきちんと本部、営業店でできますので、まだどんな事業者が手を挙げられて、どんな関心があるのかはわかりませんが、プロセスは信頼を得る形で進めていきたいと思っています。

町の見解ではないですが、今考えているのは、必ずしもサ高住に関心があるかどうか分からないです。純粹に町の現況、状況を見てもらって、事前の情報をお伝えした中で、事業者としてどんなことが展開できるか、それは当然住んでいる方のニーズや現況を見てもらった上で、探っていきたいと思っています。その中で、計画をお手伝いした私共の考え方としては、施設介護というのはとても大事となってきます。また、在宅介護やサロンも提案しているので、在宅介護やサロン活動を先頭に立って実施するような事業者がでてきたらいいなと、まだ町とは詰めていませんが、考えています。

保福課長　町としましては、足りないところ、24時間介護ケアや皆さんが集まる拠点作り、そういったことが今の町のニーズなのかなという認識でおります。また、既存の事業者もおりますので、そこと協力しながら、進めていけるような事業者をご案内していければと考えています。

委員　在宅介護やサロンについて、御宿台が最初のとりかかりにしようということだったが、御宿台の広い土地は西武が管理しているので、町から西武に対して働きかけはしないんですか。また働きかけをする予定はありますか。それから特別養護老人ホーム外房も、50人という定員では、とても足りなくて、この前申し込まれた方が、100人待ちだと言われたそうです。御宿町の在宅事業者は1件だけですよね。そうするとあまりにもシニアが輝くまちにしては、脆弱すぎますよね。ほかから事業者を呼んでくるなら、町ぐるみで西武にも働きかけて欲しいし、事業者にも本腰で、町の予算ではなくて、民間業者の予算を取り入れながら、町としての魅力を発信して欲しいと心から願っています。5年では遅いですよね。今から始めなくてはという感じがしますので、よろしく願います。

企財課長　元々御宿台でサロンですとか成功事例をつくって、それから他の地域に波及していけばというお話もありましたが、介護の拠点につきましては、特に御宿台に限ったことではなく、町がコンパクトですので、できるところでやっていただければと思っています。ただ、御宿台でしたら造成の必要などありませんので、候補の事業者が御宿台で事業を展開したいというお話になれば、我々も事業者と一緒に西武に働きかけをする用意があります。ただ、相手のあることですので、特に御宿台というところで、限定をしているということではないということだけご承知いただければと思います。先ほどからお話がありますとおり、今のところ転入と転出では、御宿町は転入が多いのですが、日本全体の人口が減っていく中で、御宿だけが増えるわけではないので、減る傾向にはありますが、なるべく抑制しながらと考えています。そうすると、地域の魅力ということで、せっかく来ていただいた方が、最後までいられないというような状況は好ましくないもので、そこで今考えているのが介護、お買い物や医療など町内を動くのも大変だということで、移動の方法ですが、これについては、地域公共交通会議などもありますので、力を入れていきたいと思っています。

委員　今回の御宿まるごと生涯活躍のまちというのは、私はひとつのパッケージだと思う。

一つ一つのリソースが御宿には無い。ゼロというわけではないが、非常に厳しい。ただこの間、この委員会でもさまざまな勉強をしてきた中で、トータルとすると御宿町はかなり高いと思います。そこをどう活かしていくのかというのが、今回の地域再生計画の肝ではないかなと思っています。この地域再生計画の中で、住民と行政の協働により、生活支援・支え合いと多世代交流は、御宿町は非常にコンパクト、それから地理特性がある、海がある、御宿台には比較的新しい方々が住む場所といったように非常に特色のある町であり、それぞれの持ち味がある。ここをどうひとつにまとめていって、健康寿命をどう延ばしていくか。生涯生き生きと活躍できる場所をどう作っていくか。この4月1日になぜ企画財政課が窓口になったのかということ、役場としても一丸となってこの計画を推進していくという町民に対するメッセージだと思っている。そのことがまだ町民にきちんと伝わっていない。こういう情報が出てくるといったらインターネットに出ていません。採択されたことや会議状況といった情報を住民の皆さんにどういう形で示されていますか。それが大事じゃないんですか。もう半年経っちゃいますよね。この計画は、様々な課題を、もう一度整理してもう一度作り直そうと、離合集散しようということで、まさに御宿町の課題そのものだと思います。じゃあ、どう進めるのかということです。個々の話はあるが、パッケージとしてこれを住民の中に出していきながら、汗をかく必要があるんじゃないですか。そうしなかったらあつという間に3年経っちゃいますよ。お金を消費しただけで終わっちゃうっていうことではないですか。先ほどオリーブの話が出たが、みんな手弁当でやろうと思っています。しかも一番困難な有機に挑戦しようという若い農家の方たちに言っています。お金じゃないんだと思います。

企財課長 ホームページの件につきましては、この採択状況などについてホームページに掲載させていただいています。また、今回の事業については、これから新しいホームページを作ろうとしています。企画財政課の所管ですので、このような会議がいつ開かれて、どのような議論があったのかということ、その都度掲載していく予定です。今年度については、7月になってしまいましたが、所管が変わって、今回から始めて行きたいと思っています。オリーブにつきましては、有機で実施しようという情報は、担当課長は確認していると思いますが、私までは情報が来ていませんが、近々視察に行くという話もありますので、その中で具体化されていくと考えます。予算についても、手弁当でというお話もありましたが、協力いただくところもありますが、町としても責任をもって進めて行きたいと思っています。情報発信というのは、町の苦手な部分ですので、その点については反省しまして、これから進めたいと考えています。今回、6項目出ていますが、一つ一つ実施してもうまく回らないため、庁内において副町長を中心としたプロジェクトチームで活動していますので、縦割りじゃないところで協議を進めてまいります。

委員長 ちばぎん総研には、町が計画を出した際、その手助けをいただいて認定されたというなかで、3年間という援助を受けられるわけですから、計画を立てていただいたものを、何が何でもやっていくんだという心構えで、一つ一つ実行していただきたい。先ほど心配したような、生涯ここで過ごそうとしてきたけど、どうしても先行き不安になってしまう、だから今のうちに不安のないような所に移り住みたいという考えを持っている人が多いので、CCRC政策の中で、一生暮らして一生終わられるようなケアは、町全体でしているんですよという明確な計画を示して、実施していかないといけない。来る人を受け入れる前に、いる人をどうやって安心した生活を送らせるかということが、一番のどこの自治体も問題だと思う。なかなかいろいろなことをやっても、転入してくるのは少ないと思うので、定住政策をしながらも、環境を整えて数倍の魅力を感じさせる環境が必要なんだと

いうことで、その手助けをしていただけるならば、ぜひお力を借りて、積極的にお願いしたいと思っています。

このCCRC計画は、何が何でも成功を収めて、これからの先、10年、20年の人たちに、あの時あの人たちがいたから今の御宿があるんだねという思いを残したいと思っています。

### 3 その他

企財課長 第2回目の会議については、特に予定はありませんが、この事業の経過や実績などご報告ができるようになりましたら、実施させていただきたいと思います。ただ仕事の進捗によっては、以前ワーキンググループを作っていたいておりますので、そちらの実施については、お手伝いをお願いすることもあるかと思いますが、その際は早めにご連絡させていただきたいと思いますのでご協力をお願いします。